

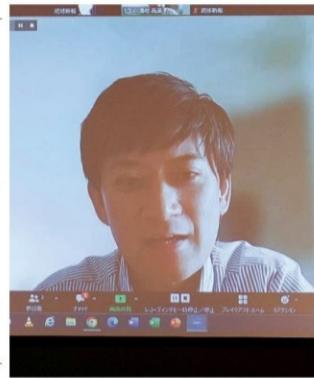


田名 犀氏

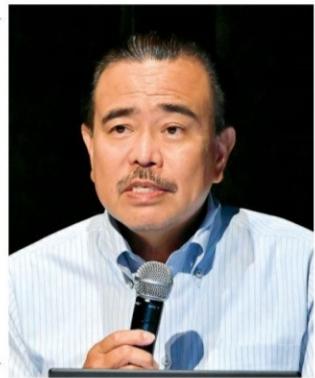
## 専門家講話

琉球新報社は8日、那覇市泉崎の琉球新報ホールで「第5回健康経営シンポジウム」(協会けんぽ沖縄支部共催)を開催した。従業員の健康管理を経営的な視点で

# 働く幸せ企業力に



湯地 高廣氏



真栄城 嘉剛氏



真栄城 嘉剛氏

## 「共に成長」価値共有

## 討議の視点

経営の推進を手伝つているカゴメでは健康経営を通じて新しいサービス

も出てきたので、企業への提案などコンサルティング活動をしている。学生と一緒にプロジェクトを進めている。野菜ジュ

琉球新報社は8日、那覇市泉崎の琉球新報ホールで「第5回健康経営シンポジウム」(協会けんぽ沖縄支部共催)を開催した。従業員の健康管理を経営的な視点で

捉え戦略的に推し進め、「健康経営」について、県内外の実践例を発信して普及を図るのが目的。企業の総務・人事担当者ら約20人が講講した。「行動変容を起こし結果につなげる取り組み」をテーマに、実践企業3社から担当者が登壇(1人はオンライン参加)。協会けんぽの事業報告、医療の専門家による講話もあった。

## 家庭に1台血圧計を

産業医活動で13社と契約し約2千人の健康管理に当たっている。会社の衛生管理者からクリニックの保健法を検討する。健診後、高血圧を放置している人がい

たら、車の運転を禁じたり通院を確認するまで就業制限をかけたりする。衛生管理者との連携は重要な連携だ。年齢層別死亡率が非常に高い。年齢階級別死亡率

は、常時10人以上の労働者がいる場合、衛生推進者が義務化する。この点があまり理解されない。沖縄県の働き盛り世代の有所見率、血圧がコレスステロール、肝機能、肥満か何かにかかる確率が非常に高い。

職場に残る時間は長い。

職場に残る時間は長い。